

■ ■ Youth Challenge PJ ～発表会～ ■ ■

カウンセラーをもっと身近に チーム窓際



1. 課題設定

【課題】

- ・ カウンセラーの利用者を増やす
- ・ カウンセラーを身近に感じてもらう

2. 課題設定の経緯①

【課題設定の経緯】

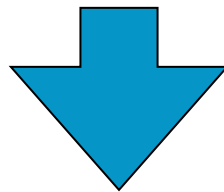
- 近年のニュースから悩みを持つ人が増えたのではと考え、悩んでいる人の力になりたいと思った
⇒ ターゲット: 県南地区の高校生
- 高校生の悩みを解決するにはどうすればよいか？
⇒ カウンセラーに着目



2. 課題設定の経緯②

【カウンセラーに感じたこと・思ったこと】

- 学校のカウンセラー室に行っている人をあまり見かけない
- カウンセリングに行きづらい雰囲気がある



多くの学生たちに相談先として、

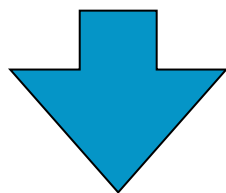
カウンセラーを知ってほしい、気軽に利用してほしいと思い、

課題を設定

2. 課題設定の経緯③

【課題】

- カウンセラーの利用者を増やす
- カウンセラーを身近に感じてもらう



【目指す状態】

- 悩みを持つ高校生が気軽にカウンセラーに相談に行ける。
- カウンセラーを身近に感じてもらえる。



3. 課題に対する疑問

【疑問】

- ・ 悩みを持っている人は本当に多い？
- ・ カウンセラーに相談する人は本当に少ない？

⇒現状把握のためのアンケート調査を実施

- ・ 高校4校に通う864人の高校生が回答

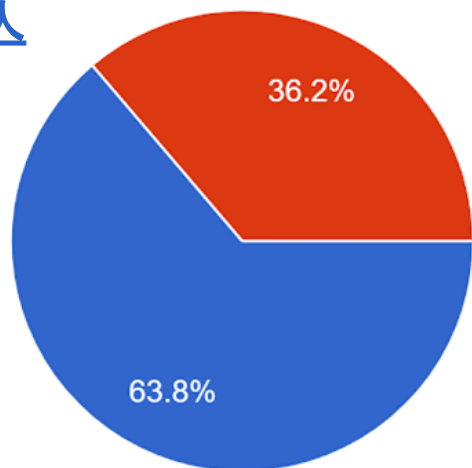


4. 調査の結果

高校入学時から少しでも悩みを持ったことがありますか。

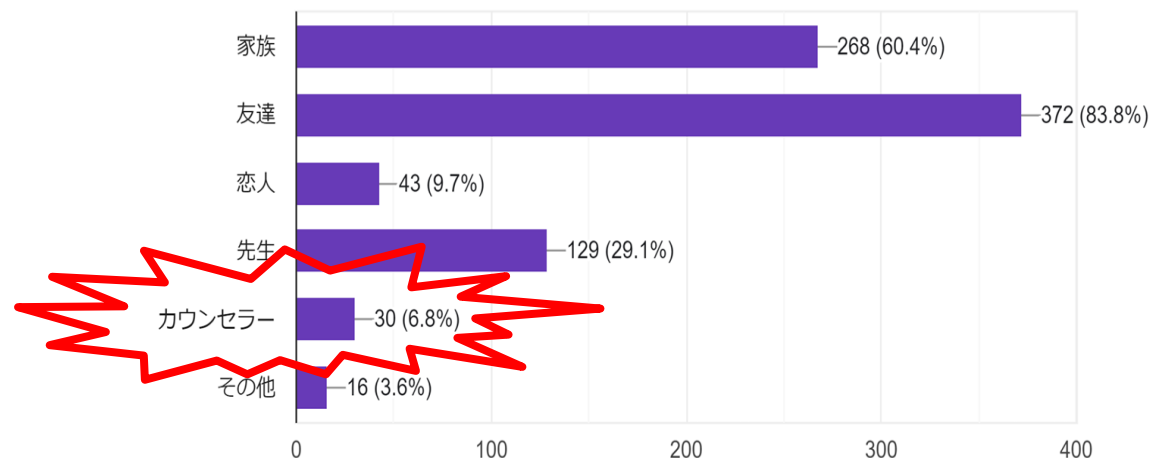
864 件の回答

ある：551人



誰に悩みを相談しましたか。 ※複数選択可

444 件の回答



【結果】 悩みを持ったことのある人は551人

⇒そのうち、カウンセラーに悩みを相談した人は30人

5. 新たな疑問

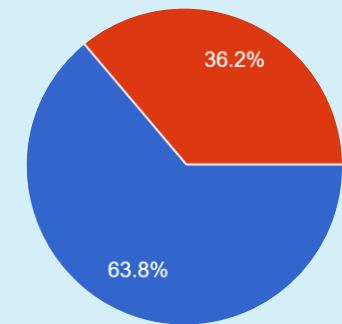
【結果】

- ・ 悩みのある高校生は多い
 - ・ カウンセラーの利用者は少ない
- ⇒ カウンセラー側に原因があるのでは？

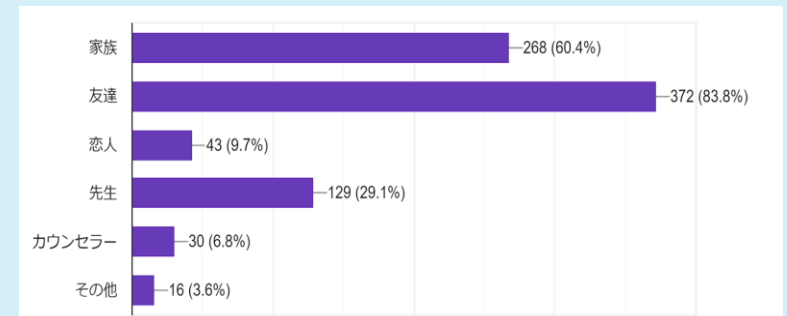
【疑問】

相談できる場所があるのに、なぜ学生は
カウンセラーを利用しないのだろうか？

① 悩みがある高校生の割合
「ある」が63.8%(551/864)



② 悩みがある高校生の相談先（複数回答可）
「カウンセラー」は30人



6. 調査・考察

【調査】

自分たちの高校4校のカウンセラー利用可能時間を調べた結果（右表）

→ 利用できる時間が少ない

利用者が少ない原因は？

- ・ カウンセラーがいないのか？
- ・ 学生の予約数が少ないのか？
- ・ 役所で決定しているのか？など



【調査の結果】

カウンセラー利用可能時間
公立高校A：週に1回程度
(1日3、4時間)

私立高校B：週に1回程度
(1日1時間)

公立高校C：年間29日
(1日3、4時間)

公立高校D：年間29日
(1日3時間)

7. インタビュー調査

【カウンセラーさんにインタビュー】

公立高校に関しては県が、私立高校は高校がカウンセラー室の日数を決定していることが分かった。

【解決するために】

コンテンツの制作し、カウンセラー室を利用する学生を増やす！

⇒ 利用者の増加により、最終的に県・高校などにカウンセラーの重要性を知ってもらう！

8. ポスターにした理由

【どのコンテンツで発信するか】

案：動画制作、ホームページ、ポスター、配布物、メルマガ など



- ・目に付きやすい
 - ・何回も見てもらえる
 - ・継続的に出す必要がない
 - ・制作時間がかからない
 - ・専門知識がいらない
- などの理由からポスターに決定



9. ポスターの内容

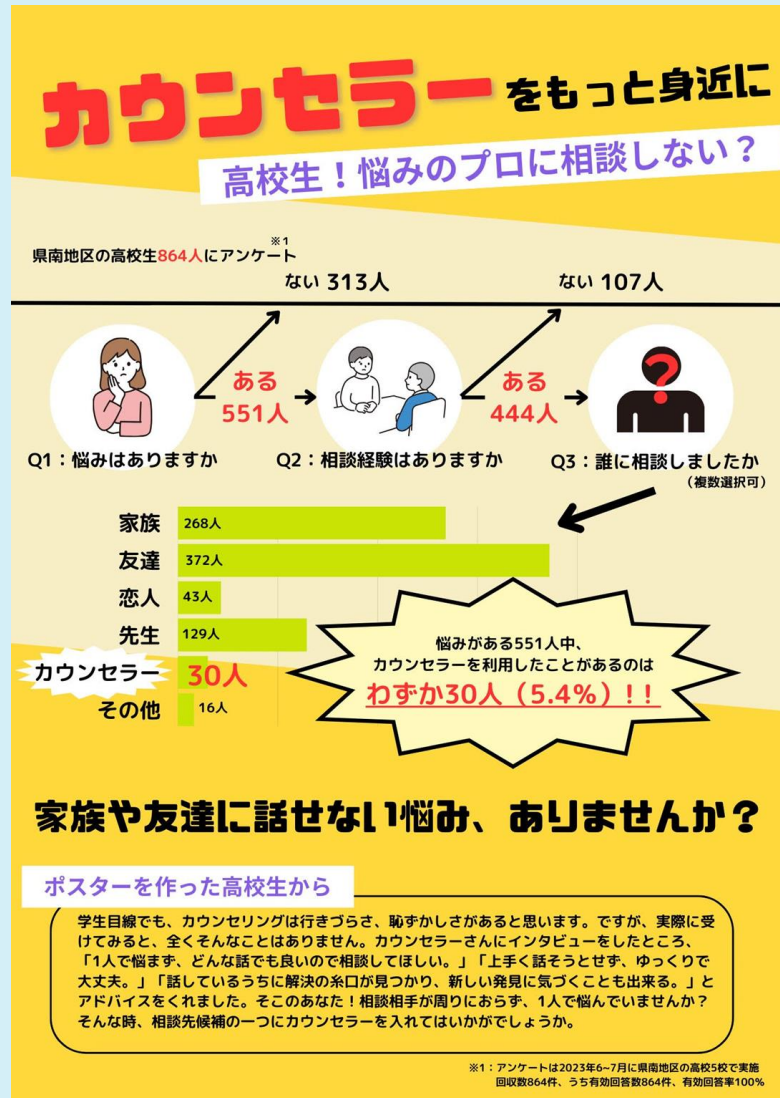
【ポスターの内容案】

案：QRコード、グラフ、カウンセラーの電話番号

	QRコード	グラフ	電話番号
メリット	絵やタイトルにスペースが使える	文だけでは読み取れないデータに乗せることができる	悩みがあったらすぐに相談することができる
デメリット	読み込むのが面倒	何度も前を通らないと記憶に残らない	間違い電話やいたずら電話の危険性がある

駅や学校に貼ることでカバー

10. 完成したポスター



※お手元の資料をご覧ください

- 危険信号を意識し、背景を黄色に
- 高校生の目線に立ったキャッチコピー
- タイトルとキャッチコピーの色・フォントを特徴的に
- できるだけシンプルにまとめ、わかりやすく
- グラフにイラストを組み込みキャッチーに
- グラフの結果の「カウンセラー」を目立たせる
- 一番多い相談先だった「家族や友達」を「問いかけ部分」の言葉に用いる
- 「高校生の言葉」を掲載
- コメントにはカウンセラーさんへのインタビューを反映

11. 今後について

【予定】

県南地区の高校に掲載

⇒カウンセラーの利用数が増えることを期待したい。

⇒県や高校もカウンセラーの開催日を増やす対応をとって欲しい。

【高校へ掲載後】

- ・ **駅**にも貼ってもらえるかを打診
- ・ ポスターがカウンセラーの利用数に影響したか **アンケート**等で調査したい